



**土曜学習「わかまち 多治見大好き講座」
参加してみて考えたよ！**

**第9期 多治見陶磁器探検隊④
～タイル博士になろう～ (11/15)**

I. 受講生より

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・タイルができるしくみとどんな工夫をしているかがわかった。(小4)
- ・タイルの材料が砂だということや、タイルを作るのにたくさんの時間がかかっていることがわかった。(小3)
- ・タイルの裏が、どうして凸凹しているのかがわかった。(小4)
- ・タイルを作るには3種類あることにびっくりした。(小4)
- ・タイル工場の見学に行き、はじめてタイルを作るところを見た。出来上がったタイルしか見たことがなかったので、ピストンをしたり焼いたりいろいろなことをしてタイルになるんだとすごく感動した。(小1)
- ・タイルは思っていたよりも作るのが大変だと思った。鉄が溶けるほどの熱さで焼いていることを聞いて、びっくりした。(小4)
- ・実際にタイルをさわってみて裏はざらざらしていた。いろんな色や形にできることがわかった。モザイクタイルミュージアムの中にある絵はいろんな形や色のタイルを組み合わせると1枚の絵ができていてびっくりした。(小3)
- ・貼り加工体験で職人さんがとても速い動きをしていてびっくりした。(小4)



2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・多治見はもうタイルばかりで世界遺産になっていると思う。(小3)
- ・タイルは丈夫で長持ちだから、50年後もいろいろな場所に使われている。(小3)
- ・機械化が進んですべて機械が作っている。(小4)
- ・笠原のタイルがずっと続いているとうれしい。(小3)
- ・たくさんタイルを多治見で作っている。また、世界全ての焼き物が多治見で作られていると思う。(小4)



3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・タイルがずっと残っていてほしいから、タイルをもっと大切にしたいと思う。(小3)
- ・タイルがのりものにつかわれていたらいいと思う。車や飛行機などタイルで作られたらカッコいいと思う。(小1)
- ・大きくなったらタイルを使って絵を作ったり家を作ったりしたい。(小3)

- ・私は、モザイクタイルミュージアムが人気の観光地になっているといいなと思う。そのために、モザイクタイルのよいところをみんなに教えてあげたい！(小5)
- ・タイル工場に行って粉を固めて作るタイルがあることを、はじめて知った。もっとタイルについて知ることができたらいいなと思う。(小5)
- ・未来はタイルが盛んになっていて街のいろいろな所に飾りや作品が飾ってあったらいいなと思う。そのために今はタイルを大切に使うことと、その材料を大切にしたい。(小4)
- ・将来のためになる講座があったら参加したい。(小2)
- ・私は自分が作るケーキ屋さんを、タイルで飾った、かわいらしい店にしたい。また、自分が弾くピアノに、タイルが貼ってある物を使いたい。(小1)
- ・私は詳しい人になっているといいなと思う。そのために今土曜学習にいっぱい出席する。(小2)

65%の受講者が、多治見に対する願いと自分の行動を結びつけて考えることができた。

4. その他参加して思ったこと

- ・わかりやすい説明をたくさんしてくれたので、とても楽しかった。(小3)
- ・わかりやすく、みんな優しくていいなと思った。(小3)
- ・いろんな苦勞をしても喜ばせるためにがんばっててすごいと思ったよ!!(小3)

II. 中学生ボランティアより

2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・土だけでなくもっと持続可能で環境によいものを使ったタイルが作られている。(中2)



4. 中学生ボランティアに参加して

- ・多治見は田舎だけどすごい所がたくさんある。そして、そのすごさをもっと広めることができるように、またボランティアに参加して、魅力をより多くの人に知ってもらえるようにする。(中3)
- ・今回、ロイロノートで送られた資料を見て、中ボラ少ないなと思った。募集人数が10人でずっと同じ人なので、次は友達などを誘ってみようかなと、思った。(中1)

III 講座後の家庭での学びの深まり

- ・何回か参加している講座ですが”生”で見るのが身になっていると感じました。毎回学んだことを教えてください。(小4)
- ・遠足で行った所をもう一度見ることができ、その時見られなかった所も見学できたので満足そうでした。陶器を作る工程と違った内容もあるのもよかったです。(小3)

